

新城市民病院での研修を振り返って

名古屋第一赤十字病院 研修医

新城市民病院での1か月間、榛葉先生をはじめとする総合診療科の先生方、外来や病棟の看護師の方々並びに院内関係者の方々には大変お世話になりました。地域医療研修として様々な経験をさせていただきました。

私の研修する名古屋第一赤十字病院の総合診療科は外来診療のみとなっており、総合診療の先生と関わる機会は非常に限られています。この地域研修で総合診療の先生と4週間で過ごし、総合診療の必要性とともに難しさを実感しました。地域の性質上、病院に高度な専門性の高い医療提供が求められてはいないときに必要になってくるのは **general** に診る力であると考えます。問診と身体所見を重視し、患者のニーズにも合わせた検査を行い、必要な治療計画を立てる。個々人に合わせた治療を提供し、場合によっては治療を選択していただく。これを実践していくには、多岐にわたる知識と経験が必要であると考えますが、新城市民病院の総合診療科の先生方はその臨床能力を持ち合わせていらっしゃる方ばかりでした。また、指導能力も抜きん出ており、毎日の朝の勉強会・夕方の振り返りから学ぶ事も多くありました。

また、コメディカルの方々の温かさも印象的でした。患者様と顔なじみであることも多く、家族でかかりつけという方も少なくありません。看護師さんと患者さんから小松菜の話が聞こえてくる事なんて、私の研修病院ではありえません。コメディカルを交えた週一のカンファレンスがありますが、そこでも患者様とその周囲の環境を第一に考えた話し合いが行われているということが印象的でした。

市民病院から外に出て、訪問リハビリ・訪問看護に付いて行く機会もありました。実際に患者様のお宅を訪問することで、地域の方々がどのような暮らしをされているのか、体がいうことをきかなくなってきた時に初めて浮かび上がる住居の問題点を実際に目にすることができたことは、大変貴重な体験でした。他にも作手診療所、老人保健施設、しんしろ助産など周辺施設を訪れ、様々な医療機関と協力しあって地域の方々の健康ならびに住みよいまちづくりをしていることがわかりました。

名古屋の病院での研修は体験できない様々なことを経験でき、大変有意義な4週間で過ごさせていただきました。今後もここでの研修で学んだことを生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。